

## 古代エジプトの謎に迫る

四大文明の1つである古代エジプト。“エジプトはナイルの賜”といわれるように、ナイル川を中心にピラミッドやヒエログリフに代表されるような豊かな文明が生まれました。しかし、未だ謎に包まれた部分も多く、世界中の考古学者がその謎に惹かれ新たな事実を発見するために調査を行っています。皆さんも謎と魅力に溢れた古代エジプトの世界に触れてみませんか？

\* Rがついているのは、図書館の中でご覧いただく資料です。貸出していません。

\* 「書庫」となっている資料は、書庫にある資料になります。お気軽に職員におたずね下さい。

### 古代エジプトとは？



エジプト	ジョイス・ティルズリー／著	昭文社	2008	242.03/テ081
古代エジプトとはどんな時代であったのか？当時の社会制度や暮らしをイラストで再現。				
大英博物館図説古代エジプト史	A. J. スペンサー／編	原書房	2009	242.03/SA096
大英博物館の数多くの収蔵された遺物を通して、古代エジプトの歴史だけでなく、当時の社会や文化について最新の研究成果を反映しながら、分かりやすく書かれている。初めて古代エジプトについて学ぶ人にも、入門書としてオススメの1冊。				
エジプト発掘 解き明かされる4つの謎	NHK「エジプト発掘」プロジェクト／編著	日本放送出版協会	2009	242.03/ニツ099/
古代文明の旅エジプト National geographic	ジョルジョ・アニューゼ／著	日経ナショナルジオグラフィック社	2003	242.03/アジ03X/
エジプト王国三千年 興亡とその精神	吉成 薫／著	講談社	2000	242.03/Y1
物語 古代エジプト人	松本 弥／著	文藝春秋	2000	242.03/M2
書庫 古代エジプト探検史	ジャン・バルクテール／著	創元社	1990	242/V/3
書庫 古代エジプト 失われた世界の解読	笈川博一／著	中央公論社	1991	242/O
四大文明 エジプト	吉村 作治／編著	日本放送出版協会	2001	209.3/Y3
R 大英博物館古代エジプト百科事典	イアン・ショー／著	原書房	1998	242.033/S1
R 古代エジプトを知る事典	吉村 作治／編著	東京堂出版	2005	242.03/ヨ054/

### 古代エジプトに生きた王たち



古代エジプトファラオ歴代誌	ピーター・クレイトン／著	創元社	1999	242.03/C1
古代エジプト女王・王妃歴代誌	ジョイス・ティルディスレイ／著	創元社	2008	242.03/テ086
図説ツタンカーメン王	仁田 三夫／著	河出書房新社	2005	242.03/ニミ051
黄金王ツタンカーメンの素顔	ザビ・ハワス／著	アケト	2007	242.03/ハサ077
書庫 ラメセス2世 神になった太陽王の物語	ベルナデット・ムニュー／著	創元社	1999	242.03/M1
書庫 アレクサンダー大王 未完の世界帝国	ピエール・ブリアン／著	創元社	1991	289.3/A11/3
クレオパトラ	クリスティアン＝ジョルジュ・シュエンツェル／著	白水社	2007	242.03/シク078

## 古代エジプトの王が遺したもの

書庫

ピラミッド大全	ミロスラフ・ヴェルナー／著	法政大学出版局	2003	242.03/ウミ03X
ギザの大ピラミッド	ジャン＝ピエール・コルテジアーニ／著	創元社	2008	242.03/コシ08X
大ピラミッドの秘密	ボブ・ブライアー／著	ソフトバンククリエイティブ	2009	242.03/フホ09Y
ピラミッドへの道	大城 道則／著	講談社	2010	242.03/オミ107
ピラミッド文明・ナイルの旅	吉村 作治／著	日本放送出版協会	2000	242.03/Y2
古代エジプト 王・神・墓	仁田 三夫／著	河出書房新社	2002	242.03/N2/
磯崎新の建築談議 カルナック神殿〔エジプト時代〕	磯崎 新／著	六耀社	2001	523/I1
エジプトのオベリスク	ラビブ・ハバシュ／著	六興出版	1985	242/H2/
エジプト美術	ヤロミール・マレク／著	岩波書店	2004	大型別 702.03/マシ044
古代エジプトの壁画	仁田三夫／写真・解説	岩崎芸術社	1997	723.03/N1
NHKルーブル美術館 1 文明の曙光 古代エジプト／オリエント	高階秀爾／監修	日本放送出版協会	1985	706.9/R2/1
NHK大英博物館 2 エジプト・大ファラオの帝国	NHK取材班／〔編〕	日本放送出版協会	1990	大型別 069.3/D/2
カイロ博物館 古代エジプトの秘宝	吉村 作治／監修	ニュートンプレス	2000	大型別 702.03/Y1
世界美術大全集 西洋編第2巻 エジプト美術		小学館	1994	708/S15/2
先王朝時代からプトレマイオス朝時代まで時代毎にエジプトの建築や絵画、工芸、彫像のそれぞれについてまとめられている。また、巻末にはエジプトの地図や歴史年表、ピラミッドの変遷、エジプトの神々についての参考資料も掲載されている。				

## ヒエログリフを読み解く

ヒエログリフを愉しむ	近藤 二郎／著	集英社	2004	242.03/コシ048
ヒエログリフがわかる絵本	大英博物館／編	創元社	2005	242.03/キ053
ヒエログリフ解説史	ジョン・レイ／著	原書房	2008	242.03/レイ08X
ヒエログリフを書いてみよう読んでみよう 古代エジプト文字への招待	松本 弥／著	白水社	2000	894.21/M1
ヒエログリフの入門書。古代エジプトの基本的なアルファベットだけでなく、文字を日本語に対応させた表も掲載されている。				
R 〈図説〉ヒエログリフ事典	マリア・カルメラ・ベトロ／著	創元社	2001	894.21/B1/
シャンポリオン伝 上・下	ジャン・ラクチュール／著	河出書房新社	2004	289.3/シシ04Z /1,2
言語学者であるシャンポリオンがどのようにしてヒエログリフの解読に成功し、その後のエジプト研究に貢献することとなったか？生涯を通してエジプトの謎に魅せられたシャンポリオンの伝記。				

## 古代エジプト人の暮らし



	図説古代エジプト生活誌 上・下	エヴジェン・ストロウハル／著	原書房	1996	382.42/S1
	イシスの娘 古代エジプトの女たち	ティルディスレイ／著	新書館	2002	242.03/T2
	知識の灯台 古代アレクサンドリア図書館の物語	デレク・フラワー／著	柏書房	2003	002/F2/
	パピルス 偉大なる発明、その製造から使用法まで	リチャード・パーキンソン, スティーヴン・クワーク／著	学芸書林	1999	242.03/D1
書庫	古代エジプト動物記	酒井伝六／著	文芸春秋	1984	242/S2/2
書庫	古代エジプトの遊びとスポーツ	ヴォルフガング・デッカー／著	法政大学出版局	1995	780.24/D
書庫	古代エジプトの性	リーセ・マニケ／著	法政大学出版局	1990	384.7/M2
	指輪 古代エジプトから20世紀まで	東京都庭園美術館／監修	淡交社	2001	383.3/T1
	船とナイル 古代の旅・運搬・信仰	ディルウィン・ジョーンズ／著	学芸書林	1999	242.03/D1
	道 古代エジプトから現代まで	鈴木敏／著	技報堂出版	1998	685.2/S1/
書庫	ピラミッドに隠された天文学	倉橋秀夫／著	新人物往来社	1993	242/K2/
	病と風土 古代の慢性病・疫病と日常生活	ジョイス・ファイラー／著	学芸書林	1999	242.03/D1
	ファラオの秘薬 古代エジプト植物誌	リズ・マニカ／著	八坂書房	1994	472.42/M

## 古代エジプトの信仰



	エジプト神話の図像学	クリスチアヌ・デローシュ＝ ノブルクール／著	河出書房新社	2001	702.03/D1
	図解古代エジプトシンボル事典	リチャード・H. ウィル キンソン／著	原書房	2000	702.03/ウ003
	エジプトの神話	ジョージ・ハート／著	丸善	1994	162.95/H
	エジプト神話	ヴェロニカ・イオンズ／著	青土社	1997	164.42/I
	エジプトの神々事典	ステファヌ・ロッシニ／著	河出書房新社	1997	162.42/R1
書庫	エジプト神イシスとオシリスの伝説について	プルタルコス／著	岩波書店	1996	X164.31/P1/
書庫	古代エジプト人 その神々と生活	ロザリー・デイヴィッド／著	筑摩書房	1986	242/D/

## ミイラと古代エジプト人の死生観



	図説 エジプトの「死者の書」	村治笙子・片岸直美／著	河出書房新社	2002	163.8/M2
	黄金のミイラが眠る谷	ザヒ・ハワス／著	アクト	2008	242.03/ハ#077
	ミイラの謎	フランソワーズ・デュナン, ロジェ・リシタンペール／著	創元社	1994	242.03/D1
	ミイラ解体 「王家の谷」造営職人長ホルエムケニシの生涯と死	ジョン・H・テーラー／著	学芸書林	1999	242.03/D1
書庫	貴族の墓のミイラたち	吉村作治／著	日本放送出版協会	1988	242/Y/4
書庫	王<ファラオ>の墓づくりびと	モーリス・Lピアブライヤー／著	学生社	1989	242/B/

## 雑誌で知る古代エジプト

\* 当館所蔵の雑誌のうち、2000年以降に“古代エジプト”に関して特集された記事を集めました。

National Geographic【日本語版】	日経ナショナル・ジオグラフィック社	月刊	Z290.5/N1/2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代エジプトを支配した ブラックファラオ(2008年2月号)</li> <li>・特集 古代エジプトの聖地アビドス --来世を夢みた人々の生と死の謎を最新の発掘調査から解き明かす(2005年4月号)</li> <li>・特集 古代エジプトの墓 乱世のある男の謎--異端の王が亡き後の処世(2003年11月号)</li> <li>・特集 エジプトの秘宝 輝かしい文明の遺産(2003年1月号)</li> <li>・特集 サッカラ遺跡 古代エジプトの王家の墓所(2002年10月号)</li> <li>・特集 古代エジプト ピラミッドを造った人々(2001年11月号)</li> <li>・特集 古代エジプト 謎の権力者の墓を発見(2001年9月号)</li> <li>・特集 古代エジプト 太陽の王の改革--歴史から消された宗教、芸術の改革(2001年4月号)</li> </ul>			
Newton	ニュートンプレス	月刊	Z/405/N1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットのツール 特別インタビュー アルファベットは、エジプトにいた“アジア人の兵士”が生み出した (NEWTON SPECIAL「ABC」の起源にせまる アルファベットのルーツ--4000年の歴史をもつ、世界文字の“原型”とは?)(2008年5月号)</li> <li>・保存版 エジプト詳細マップ (2007年11月号)</li> <li>・タニス遺跡に眠るファラオたち--ナイル・デルタに残る古代エジプト王朝の残映(2007年4月号)</li> <li>・アーキオリポート エジプトで発見された未盗掘の彩色木棺とミイラ --早稲田大学古代エジプト調査隊発掘リポート (2005年4月号)</li> <li>・ラムセス2世の遺産--古代エジプトの偉大なる王を今に伝える (2005年4月号)</li> </ul>			
芸術新潮	新潮社	月刊	Z705/G1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これだけは見ておきたい エジプト美術世界一周(2009年9月号)</li> </ul>			

## “インターネットで”世界の古代エジプトに触れる

\* エジプトにはなかなか気軽に行くことができませんが、インターネットで古代エジプトに触れてみませんか？  
古代エジプトの展示で有名な世界の博物館・美術館のホームページをご紹介します。

カイロ・エジプト博物館(英語版) 	<a href="http://www.egyptianmuseum.org/">http://www.egyptianmuseum.org/</a>
エジプトの遺物を収蔵する世界最大の博物館。ツタンカーメンの秘宝やネフェルティティ王妃の頭部、ギザの三大ピラミッドの一つである第二ピラミッドを建てたカフラー王の岩製座像などが見どころ。	
大英博物館(英語版) 	<a href="http://www.britishmuseum.org/">http://www.britishmuseum.org/</a>
ナポレオン戦争で得た戦利品を中心に約100,000点を所蔵している。なかでも、エジプト遠征中にナポレオンの部下が発見したと言われる“ロゼッタ・ストーン”は人気の作品の1つである。	
ルーヴル美術館(日本語版) 	<a href="http://www.louvre.fr/llv/musee/alaune.jsp?bmLocale=ja_JP">http://www.louvre.fr/llv/musee/alaune.jsp?bmLocale=ja_JP</a>
ルーヴル美術館の古代エジプト部門はヒエログリフを解読したシャンポリオンの働きかけにより開館された。上記2館に比べ、収蔵数は約60,000点と少ないが、“ラムセス3世の石棺”や“ハトホル女神とセティ1世”(壁画)など訪れる人の目を奪うようなコレクションを揃えている。また、インターネット上でも約142点公開されている。	

## “日本で”古代エジプトに触れる

\* 日本国内で古代エジプトの世界を実際に体験してみませんか？ 日本国内の美術館をご紹介します。

古代エジプト美術館	〒150-0041 東京都渋谷区神南1-12-18 メゾン渋谷801 < <a href="http://www.egyptian.jp/top.html">http://www.egyptian.jp/top.html</a> >
2009年に設立された古代エジプト専門の美術館。約1,000点所蔵。	
MIHO MUSEUM	〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町桃谷300 < <a href="http://www.miho.or.jp/japanese/index.htm">http://www.miho.or.jp/japanese/index.htm</a> >
滋賀県の山奥にある美術館。古代エジプトに関する資料は少ないが、わざわざ海外からエジプト学者が見に訪れるという新王国時代の《隼頭神像(じゅんとうしんぞう)》が所蔵されている。	